2015 年度会員見学・意見交換会(3/23)　アンケート結果

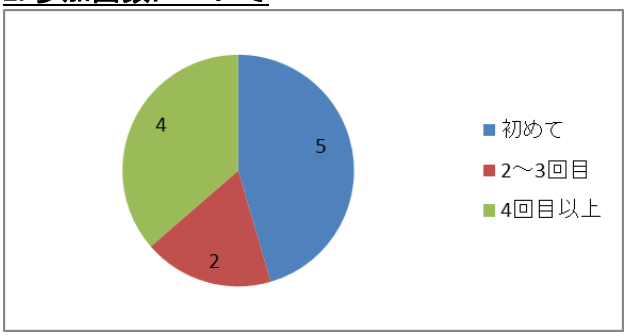
<基本情報>

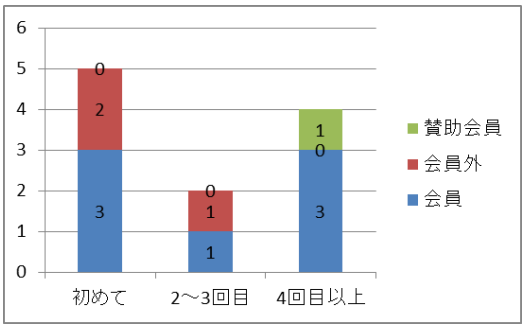
・テーマ：国立天文台におけるビジュアライゼーションの世界
・日　時：2016 年 3 月 23 日(水)
・場　所：国立天文台（三鷹キャンパス）コスモス会館　会議室

1. 参加回数について

	出席者数	ｱﾝｹｰﾄ回収数	回収率
会員	9	7	78%
会員外	3	3	100%
賛助会員	1	1	100%
計	13	11	85%

2. 参加回数について



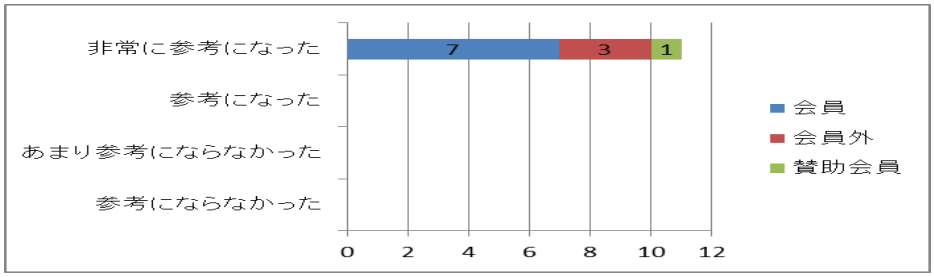


3. イベントを知ったきっかけ

		合計	会員	会員外	賛助会員
a	SS 研メールサービス	2	2	0	0
b	SS 研 Web サイト	0	0	0	0
c	SS 研 facebook	0	0	0	0
d	SS 研以外の学会・研究会などのメールサービス	1	0	1	0
e	知人からの紹介	3	1	1	1
f	その他	5	4	1	0

4. 総合評価

全体平均：　5.00　(SS 研会員：5.00　会員外：5.00　賛助会員：5.00)



・映像は本当にキレイでした。また天文台が可視化技術に対する思いが高くて良かったです。
・映像表現の「リアル←→うそ」の軸の話が興味深かったです。
・4D2U はとても良かったです。
・コンテンツ作成の内容では、良く工夫されていると思った。
　4D2U 上映では、素晴らしいコンテンツに驚いた。アウトリーチに非常に効果があると思った。
・外部資金をとるというのは賢い。
　コンテンツがこれだけあると言うことと、これからも作り続けて行けるというのがすごい。
　同じような事を実現できるといいなぁー。

5.会員見学・意見交換会　開催方法について

・いろいろな意見が聞けてよかったです。
・分野が異なる物を知ることが出来、ためになる。
・意見交換会はいいですね。
・ゆっくり議論できればと思います。

6.今後取り上げて欲しいテーマ

・JAXA での実施(2 名)
・是非、インターンシップや養成コースなど、第 2 弾をお願いします。
・AI に興味があるので、最新の AI テクノロジーを聞いてみたいです。
・縣先生が最後にチラッとお話されていた「京」とのからみなど、可視化のニーズについて、もっとお話し伺いたいです。
・天文台の観測で得られる画像は、主観が入る余地が少なかった写真乾板の時代と違って、CCD が主流の今日ではデータの可視化表現という性格が鮮明になっていると思います。そのような状況での「絵づくり」の基準となる典型がどのように形成され、共有されているのかといったテーマを、他の分野での事例も含めて扱っていただければと思います。

以　上